



## ◇虹の学校とは？

虹の学校は 2008 年、当時就学機会のなかった山岳民族の孤児や貧困家庭の子供達のためにミャンマーとの国境に程近いカンチャナブuri県サンクラブリー郡のファイマライ村にて創立されました。創立当初とは教育制度や社会状況も随分変化してきましたが、依然として国籍を持たず厳しい境遇に立たされている子供たちがいるのが現実です。虹の学校はそんな厳しい境遇にある山岳民族の子供たちを受け入れ、オルタナティブ教育を実施する学習センターとして、生活および教育支援をおこなっています。「虹色の架け橋で美しい地球を未来につなぐ」ことをミッションとして掲げ、日々の生活と教育を通して、次代に思いを馳せ今を生きることが出来る人材育成を目指します。

生徒数 : 30 名 (4 歳から 19 歳のカレン族、モン族)  
 教師 : 7 名  
 運営 : 高知市高法寺 (住職: 玉城秀大)  
 校長 : 片岡朋子  
 学習センター登録者: Miss. Pannaporn Ninkhiew



## □子供たちの境遇

虹の学校の子供たちは両親を含め、ほとんどが無国籍です。タイにおける無国籍者は「パスポートの取得ができない」「自由な移動ができない」「社会保障制度の対象外」など、生きていく上で多くの制限を抱えています。無国籍である理由は山岳民族であることに加え、孤児・育児放棄・ミャンマーの内戦から逃れてきた難民の子供など様々で、国籍取得に必要な出生証明書や住居登録書を持っていません。山岳民族の無国籍問題は、タイの国籍法や国の安全保障、タイと周辺国の政治状況、経済、人権問題などが複雑に絡み合い、解決が非常に困難な問題と言われており、2021 年現在の制度では子供たちの国籍取得は非常に厳しい状況であるのが現実です。そのような状況ではありますが、虹の学校では将来の国籍取得を見据えたサポートを継続しながら、その有無に関わらず「生きる力を育む教育」に取り組んでいます。



山岳民族の文化を継承する、5泊6日の森合宿。



学校で食べるお米は自分たちでつくります。



ミュージカルを通して表現の楽しさを学ぶ。



毎年恒例、3日間に渡る大運動会！！

## ■里親さん・ご寄付を受け付けております。子供たちを共に見守り、応援してください！

虹の学校は子供達の家であり学校でもあります。そのため学校の運営、子供達の生活には多くの資金が必要です。また、現在は将来使用予定のある借地で活動中のため新天地（2018 年に購入済）での学舎建設費も必要です。2020 年度には 30 名の子供達の生活と教育を維持するための運営費と新天地での建設費に約 250 万バーツ（約 880 万円）がかかりました。これまでは運営費の多くをタイ国内および世界各国からご来校下さった皆様からの寄付金によって賄って参りましたが、covid-19 の流行により来校者が激減し、ご寄付を募ることが大変困難な状況となりました。このような体制では今後も有事の際に安定した運営が難しいことから、2021 年より里親さんの募集をおこなうことに致しました。子供たちの生活・就学、虹の学校の安定した活動継続のため、何卒ご協力を宜しくお願い申し上げます。

虹の学校の詳細、活動報告、里親・ご寄付のお申し込みは下記サイトにてご確認ください。



虹の学校 HP



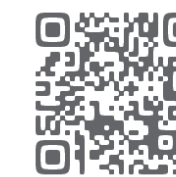
虹の学校 FB



インスタグラム



YouTube



里親・ご寄付

Email : rainbowschool.33@gmail.com

Address: 99/1, Moo6, Nonglu, Sangkhlaburi, Kanchanaburi, Thailand 71240